

令和7年度(2025 年度)

病害虫発生予察情報

第6号

5月月報

北海道病害虫防除所 令和7年(2025 年)6月 16 日

<http://www.agri.hro.or.jp/boujoshou/>

Tel:0123(89)2080・Fax:0123(89)2082

I. 気象概況 札幌管区气象台発表 北海道地方気象速報

－南から暖かい空気が流れ込みやすく、かなりの高温。－

5 月は、低気圧の影響を受けにくかったため、北海道地方の降水量は少なく、日照時間は多かった。また、南から暖かい空気が流れ込みやすかったため、北海道地方の気温はかなり高かった。一方で、下旬には北から冷たい空気が流れ込み、気温の低い日もあった。

上旬：日本海側とオホーツク海側では低気圧の影響を受けにくかったため、日照時間は多く、降水量は少なかった。また、南から暖かい空気が流れ込みやすかったため、北海道地方の気温は高かった。

中旬：低気圧が北海道の北を通過することが多く、低気圧の影響を受けにくかった。このため、北海道地方の日照時間は多く、降水量は少なかった。また、南から暖かい空気が流れ込みやすかったため、北海道地方の気温はかなり高かった。オホーツク海側の気温の平年差は、1946 年の統計開始以降 5 月中旬として、高い方から第 1 位の記録となった。

下旬：高気圧に覆われやすく、晴れた日が多かったため、北海道地方の日照時間は多かった。一方で、25 日から 26 日に低気圧が北海道付近をゆっくり通過し、広い範囲でまとまった雨となったため、日本海側とオホーツク海側の降水量は多かった。また、22 日から 26 日は北から冷たい空気が流れ込み、その後は南から暖かい空気が流れ込んだため、北海道地方の気温は平年並となった。

気候表(気温は平年差(℃)、降水量・日照時間は比(%))を示す)

	気温偏差℃	階級	降水比%	階級	日照比%	階級
北海道22 地点平均	+1.7	か高	72	少	111	多
日本海側10 地点平均	+1.6	か高	70	少	111	並
オホーツク海側4 地点平均	+2.5	か高	68	少	120	多
太平洋側8 地点平均	+1.5	か高	79	少	106	並

注) 階級分布図の気温・降水量・日照時間は、概ね「高(多)」、「並」、「低(少)」の 3 段階で表示します。各階級の幅は、平年値の作成期間(1991～2020 の 30 年間)における各階級の出現率が 1 : 1 : 1 となるように決めてあります。なお、平年値作成期間内の上位、下位 10% の範囲に入る場合は「か高(多)」、「か低(少)」(か→かなり)で表します。

Ⅱ. 病害虫発生概況

注) 本資料における表中の0の表記について

0のみの場合、調査時に発生がなかったことを示す。0.0あるいは0.00などは、四捨五入により数値が表示されていないことを示す。

A. 水稻

1. ヒメトビウンカ 発生期 やや遅(第1回成虫) 発生量 並(第1回成虫)

予察田の畦畔すくい取りによる第1回成虫の初発期は、長沼町で5月6半旬(平年:5月2半旬)と平年より遅く、比布町で5月3半旬(平年:5月4半旬)と平年よりやや早く、北斗市では5月4半旬(平年:5月3半旬)と平年よりやや遅かった。畦畔すくい取りによる成虫の捕獲数は、長沼町で平年より少なく、比布町で平年より多く、北斗市では平年よりやや少なかった。

畦畔におけるヒメトビウンカのすくい取り数

月・半旬	長沼町				比布町				北斗市			
	幼虫		成虫		幼虫		成虫		幼虫		成虫	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
5月1半旬	0	3.5	0	1.9	20.0	8.6	0	0	2.5	1.5	0	1.3
2半旬	0	3.4	0	13.1	0	2.2	0	0	0	1.3	0	0.3
3半旬	2.5	0.9	0	20.7	6.0	6.7	1.3	2.2	0	0.5	0	4.1
4半旬	0	0.4	0	13.5	5.0	3.3	10.0	36.4	0	0	5.0	4.8
5半旬	0	0.3	0	6.3	0	2.0	155.0	61.0	0	0.3	5.0	3.0
6半旬	0	1.8	2.5	5.2	2.5	1.0	37.5	49.4	0	0.5	0	3.8
平年数	10				10				10			

B. 秋まき小麦

1. 赤さび病 発生期 並 発生量 並

予察ほの「きたほなみ」における初発期は、長沼町で平年より早く、芽室町で平年より遅く、訓子府町で平年並だった。発生量は、長沼町で平年並、芽室町及び訓子府町で平年より少なかった。一般ほにおける巡回調査結果では、空知、石狩及び上川地方で発生が認められた。

予察ほにおける赤さび病の初発期

地点	品種名	初発期		平年数
		本年	平年	
長沼町	きたほなみ	4月9日	4月17日	10
芽室町	きたほなみ	5月21日	5月9日	10
訓子府町	きたほなみ	5月16日	5月18日	10

予察ほにおける赤さび病の発生状況

地点	品種名	調査葉位	病斑面積率(%)						平年数
			5月2半旬		5月4半旬		5月6半旬		
			本年	平年	本年	平年	本年	平年	
長沼町	きたほなみ	全葉	0.27	0.13	0.35	0.24	0.81	1.31	10
		最上位葉	0	0	0	0	0	0.02	
		最上-1葉	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.34	
芽室町	きたほなみ	全葉	0	0.00	0	0.01	0	0.01	10
		最上位葉	0	0	0	0	0	0	
		最上-1葉	0	0	0	0	0	0	
訓子府町	きたほなみ	全葉	0	0.00	0	0.01	0	0.09	10
		最上位葉	0	0	0	0	0	0	
		最上-1葉	0	0	0	0	0	0.00	

一般ほにおける赤さび病の巡回調査結果

普及センター	病葉率(%)			
	5月3半旬		5月6半旬	
	本年	前年	本年	前年
空知 本所	0	0	0	0
	0	0	0	0
	0	0	0	0
	4.8	0	0	0
石狩 本所	0	0	2.7	0
	0	0	0	0
後志 本所	0	0	0	0
胆振 本所	0	0	0	0
	0	0	0	0
檜山 本所	0	0	0	0
	0	0	0	0
上川 本所	0.3	0.5	1.3	0
	1.3	0	2.7	0
	0	0	0	0
	0	0	0	0
	0	0	6.7	6.7

普及センター	病葉率(%)			
	5月3半旬		5月6半旬	
	本年	前年	本年	前年
留萌 本所	0	0	0	0
網走 本所	—	—	0	1.0
	—	—	0	9.3
	—	—	0	0
	—	—	0	0
	—	—	0	0
	—	—	0	0
十勝 本所	0	0	0	0.6
	0	0	0	13.3
	0	0	0	0
	0	0	0	0.3
	0	0	0	0
	0	0	0	0.6

注1) —:調査時期外のため未調査
注2) 病葉率:最上位葉の1枚下の葉の病葉率

2. うどんこ病 発生期 遅 発生量 やや少

予察ほの「きたほなみ」における初発期は、長沼町及び芽室町で平年より遅く、訓子府町で平年よりやや遅かった。発生量は、長沼町及び芽室町で平年より少なく、訓子府町で平年並であった。一般ほにおける巡回調査結果では、石狩地方で発生が認められた。

予察ほにおけるうどんこ病の初発期

地点	品種名	初発期		平年数
		本年	平年	
長沼	きたほなみ	5月12日	4月28日	10
芽室	きたほなみ	5月21日	5月14日	10
訓子府	きたほなみ	5月12日	5月9日	10

予察ほにおけるうどんこ病の発生状況

地点	品種名	調査葉位	病斑面積率(%)						平年数
			5月2半旬		5月4半旬		5月6半旬		
			本年	平年	本年	平年	本年	平年	
長沼町	きたほなみ	全葉	0	0.07	0	0.07	0	0.07	10
		最上位葉	0	0	0	0	0	0.00	
		最上-1葉	0	0.01	0	0.00	0	0.03	
芽室町	きたほなみ	全葉	0	0.00	0	0.01	0	0.03	10
		最上位葉	0	0	0	0	0	0	
		最上-1葉	0	0	0	0.00	0	0.00	
訓子府町	きたほなみ	全葉	0	0.04	0.04	0.04	0.05	0.01	10
		最上位葉	0	0	0	0	0	0	
		最上-1葉	0	0.00	0	0.01	0	0	

一般ほでのうどんこ病の巡回調査結果

普及センター		病葉率(%)			
		5月3半旬		5月6半旬	
		本年	前年	本年	前年
空知	本所	0	0.8	0	0
	南東部	0	0	0	0
	南西部	0	0	0	0
	北空知	0	0	0	0
石狩	本所	0	0	2.7	0
	北部	0	0	0	0
後志	本所	0	0	0	0
胆振	本所	0	0	0	0.3
	東胆振	0	0	0	0
檜山	本所	0	0	0	0
	北部	0	0	0	0
上川	本所	0	0	0	0
	富良野	0	0	0	0
	大雪	0	0	0	0
	士別	0	0	0	0
	名寄	0	0.7	0	0.7

普及センター		病葉率(%)			
		5月3半旬		5月6半旬	
		本年	前年	本年	前年
留萌	本所	0	0	0	2.5
網走	本所	—	—	0	0
	清里	—	—	0	0
	網走	—	—	0	0
	美幌	—	—	0	0
	遠軽	—	—	0	0
	紋別	—	—	0	0
十勝	本所	0	0	0	0
	東部	0	0	0	0
	東北部	0	0	0	0
	北部	0	0	0	0
	西部	0	0	0	0
	南部	0	0	0	0

注1) —: 調査時期外のため未調査
注2) 病葉率: 最上位葉の1枚下の葉の病葉率

C. 春まき小麦

1. ムギキモグリバエ 発生期 並 発生量 多

予察ほのすくい取りによる成虫の初発期は、長沼町で5月13日（平年：5月14日）と平年並、比布町では5月15日（平年：5月18日）と平年よりやや早かった。成虫のすくい取り数は、両地点とも平年より多かった。

予察ほにおけるムギキモグリバエのすくい取り数

月・半旬	長沼町		比布町	
	本年	平年	本年	平年
5月1半旬	—	0	0	0
2半旬	0	3.5	0	0
3半旬	1.3	22.6	1.3	4.6
4半旬	31.3	29.8	15.0	16.9
5半旬	133.8	71.2	27.5	93.0
6半旬	225.0	78.4	437.5	210.8
平年数	10		10	

注) 20回振り×5日分換算値

注) —は未調査

D. てんさい

1. テンサイトビハムシ 発生期 並 発生量 やや多

予察ほにおける被害の初発期は、長沼町で5月3半旬（平年：5月2半旬）と平年よりやや遅く、芽室町で5月2半旬（平年：5月3半旬）及び訓子府町では5月2半旬（平年：5月3半旬）と平年よりやや早かった。被害程度は、芽室町で平年より高く、長沼町及び訓子府町では平年並であった。

予察ほにおけるテンサイトビハムシによる食害程度

月・半旬	長沼町		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
5月1半旬	0	1.2	0	0	0	0
2半旬	0	2.0	2	1.3	0	0
3半旬	2	8.0	12	3.0	1	1.9
4半旬	9	17.4	28	5.6	4	7.2
5半旬	18	20.5	34	7.6	14	14.4
6半旬	21	26.9	38	9.9	22	20.9
平年数	10		10		10	

E. あぶらな科野菜

1. コナガ 発生量 多 <5月13日付け注意報第1号>

フェロモントラップによる雄成虫の誘殺数は、長沼町、北斗市及び訓子府町で平年より多く、比布町では平年より少なかった。

コナガのフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	長沼町		比布町		北斗市		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
5月1半旬	36	6.1	22	35.1	204	19.5	3.3	2.5
2半旬	59	7.1	50	36.6	158	20.9	4.7	2.3
3半旬	34	5.8	25	66.3	113	29.0	57	3.5
4半旬	18	8.2	8	57.0	114	35.1	19	4.2
5半旬	11	15.6	12	74.9	48	35.7	1	9.1
6半旬	17	20.4	6	48.4	59	45.2	13	12.7
平年数	10		10		10		10	

F. りんご

1. モニリア病 発生期 — 発生量 少

長沼町（無防除）と余市町（慣行防除）の予察園では、葉腐れ及び花腐れは認められなかった。一般園における巡回調査結果では、発生は認められなかった。

予察園におけるモニリア病の初発期

地点	品種名	防除有無	葉腐れ		花腐れ		平年数
			本年	平年	本年	平年	
長沼町	相伝ふじ	無	未発生	—	未発生	—	—
余市町	昂林	有	未発生	—			—

注) 平年値なし

予察園におけるモニリア病の発生状況

地点	品種名	防除有無	調査時期	花葉叢率(%)				平年数
				葉腐れ		花腐れ		
				本年	平年	本年	平年	
長沼町	相伝ふじ	無	5月1半旬	0	0	0	0	10
			2半旬	0	0	0	0	
			3半旬	0	0	0	0	
			4半旬	0	0	0	0	
			5半旬	0	0	0	0	
			6半旬	0	0	0	0	
余市町B	昂林	有	5月1週目	0	0			5
			2週目	0	0			
			3週目	0	0			
			4週目	0	0			
			5週目	0	0			

注) 長沼町の平年値は2022年まで昂林

一般園におけるモニリア病の巡回調査結果

普及センター		発病花葉叢数	
		本年	前年
後志	北後志	0	0
胆振	本所	0	0
渡島	本所	0	0
留萌	南留萌	0	0

注) 1樹当たり発病花葉叢数、10樹調査(開花直前)

2. ハマキムシ類 発生期 並 発生量 少

ミダレカクモンハマキ越冬卵のふ化最盛期は、長沼町の予察園で5月8日(平年:5月7日)と平年並であった。開花直前の被害花叢率は16%(平年:50.1%)と平年より低かった。

BLASTAMならびにFLABSの運用について

水稻の葉いもち発生予察システム「BLASTAM(ブラスタム)」による広域発生期判定結果、ならびにばれいしょの疫病初発予測システム「FLABS(フラブス)」による予測結果を防除所のホームページに掲載します。

アドレス(<http://www.agri.hro.or.jp/boujoshou/>)または「北海道病害虫防除所」で検索してください。

「BLASTAM」では、道内約50地点について、葉いもちの感染好適日を判定します。

「FLABS」では、道内約25地点の農作物生育状況調査ほ場(作況ほ)等の萌芽日をもとに疫病の初発日予測を行います。

「BLASTAM」、「FLABS」とも随時更新していきますので、計画的な防除にお役立て下さい。

令和 7 年

6月1日～8月31日は**農薬危害防止運動**実施期間です！

北海道では、農薬の使用に伴う事故・被害を防止するため、農薬を使用する機会が増える6月から8月を期間として、農薬の安全かつ適正な使用や保管管理等を推進する「**農薬危害防止運動**」を実施します。



https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_tekisei/

令和7年度農薬危害防止運動

農薬の適正使用 農林水産省 検索

農林水産省・厚生労働省・環境省・都道府県共催

北海道

令和7年6月1日～8月31日

★ 農薬情報の掲載サイト

農薬の登録情報や農薬取締法などについては、農林水産省ホームページの「農薬コーナー」をご覧ください。

URL <https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/>

北海道農政部生産振興局技術普及課
(TEL 011-231-4111 (内線)27-838)
北海道病害虫防除所
(TEL 0123-89-2080)
各総合振興局・振興局農務課